

全高長第10号
令和5年6月12日

都道府県校長会教育課程研究担当校長 様

全国高等学校長協会会長 石崎規生
(東京都立桜修館中等教育学校長)
同 教育課程研究委員長 森 孝博
(埼玉県立日高高等学校長)

令和5年度 教育課程研究委員会における研究協議主題並びに主題に係る
調査資料作成について (依頼)

全国高等学校長協会(全高長)教育課程研究委員会の研究推進につきましては、日頃から多大なご協力をいただいております。感謝申し上げます。

昨年4月から、新しい学習指導要領が年次進行で実施されています。そこで、本年度も昨年に引き続き下記の研究協議主題のもとで3つの柱立てをつくり、各都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている学校の具体例を全国に情報提供することといたしました。

研究協議主題

「学習指導要領実施上の教育課程の研究」

研究協議主題に添った3つの柱立て

- 1 「主体的・対話的で深い学びの実現」に関する取組と課題
- 2 「学習評価の充実」に関する取組と課題
- 3 「探究的な活動の充実」に関する取組と課題

つきましては、次の質問事項を設定しましたので、別紙「回答例(埼玉県)」を参考に、貴都道府県でそれぞれの項目で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等に調査をご依頼します。調査校におかれましては、4ページに記載の「回答の作成に当たってのお願い」を参照の上、ご回答くださるようお願いいたします。

<質問事項>

先進的あるいは特色ある教育課程の実施状況について

(1) 「主体的・対話的で深い学びの実現」に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

(2) 「学習評価の充実」に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

(3) 「探究的な活動の充実」に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

回答の作成に当たってのお願い

1 回答の仕方

今回の調査は、教育課程において各都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている学校の具体例をもとに、工夫されている点や成果をあげている点を全国に情報提供するとともに、各校のさらなる課題解決に役立てることを目的としています。

回答に当たっては、各都道府県で各調査項目に先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校に調査依頼をしていただき、それらを各都道府県で取りまとめて回答してください。

(※全国へ情報を紹介・共有するという観点から、原則として昨年度回答している学校以外の学校でお願いします。ただし、昨年度「主体的・・・」のシートで回答された学校が今年度は「学習評価・・・」のシートで回答されるというのは差し支えございません。)

なお、埼玉県の回答を例として添付していますので、参考にしてください。各高等学校等の回答の最後には、必ず学校HPのアドレスを掲載していただくようお願いいたします。

2 回答様式

- (1) 回答は、調査項目ごとに各校A4片面1枚(MS明朝体で文字サイズ11.0ポイント)とし、下記ホームページから回答様式をダウンロードして御利用ください。

全高長URL <http://www.zen-koh-choh.jp/>

※ 全高長ホームページのアンケート掲載ページは、トップページ上部のリボンの「研究協議会」から入って「教育課程研究委員会」のページからダウンロードしてください。

※ 回答は、下記の e-mail アドレスまでメールで送信願います。

- (2) 回答の添付ファイル名は、「**令和5全高長教育課程 回答(1) (半角番号 都道府県名)**」としてください。例：「**令和5全高長教育課程 回答(1) (11 埼玉)**」これは、(1)の「主体的・対話的で深い学び」の例です。(2)と(3)は、これに準じてください。

※都道府県番号は本通知の末尾に掲載があります。

- (3) 回答欄の行は適宜増減していただいて構いませんが、全体でA4シート1ページにまとめてください。印刷製本の都合上、ご協力ください。

3 回答送付先

下記の2か所宛、e-mail の添付ファイルにて送信してください。

- (1) 埼玉県立日高高等学校長 森 孝博 (問合せ 電話 042 - 989 - 7920)

e-mail アドレス mori.takahiro@pref.saitama.lg.jp

- (2) 全高長本部事務局 (問合せ 電話 03 - 3580 - 0570)

e-mail アドレス kyoukai@zen-koh-choh.jp

※ メールの件名を「令和5全高長教育課程回答（半角番号 都道府県名）」としてください。

メール件名の例： 令和5全高長教育課程回答（11 埼玉）

各都道府県で取りまとめて、一つのメールにすべての回答を添付してください。

pdfに変換せず、Wordファイルのままお送りください。

4 回答の締切り

令和5年7月19日（水）（恐縮ですが、集計の都合上、厳守でお願いします。）

5 その他

- (1) 9月25日（月）の教育課程研究協議会については、別途ご案内します。（状況に応じてオンライン開催になる場合もありますのでご了承ください。）
- (2) 7月19日（水）に回答が間に合わない場合は、事前に上記 3（1）までご連絡ください。
- (3) 都道府県番号及び都道府県名は下の表により、入力してください。

1	北海道	2	青森	3	岩手	4	宮城	5	秋田
6	山形	7	福島	8	茨城	9	栃木	10	群馬
11	埼玉	12	千葉	13	山梨	14	東京	15	神奈川
16	新潟	17	富山	18	石川	19	福井	20	長野
21	静岡	22	愛知	23	岐阜	24	三重	25	滋賀
26	京都	27	大阪	28	兵庫	29	奈良	30	和歌山
31	鳥取	32	島根	33	岡山	34	広島	35	山口
36	徳島	37	香川	38	愛媛	39	高知	40	福岡
41	佐賀	42	長崎	43	熊本	44	大分	45	宮崎
46	鹿児島	47	沖縄						